

令和5年10月11日(水)

第32回海事・観光立国フォーラム in 三重 2023  
「観光と一体となった海事の振興と海の安全・安心」  
宿利会長 開会挨拶

皆様こんにちは。公益財団法人日本海事センター会長の宿利正史です。  
本日の海事・観光立国フォーラムは、三重県・鳥羽市にて開催いたします。  
まず最初に、この会場に、またオンラインでも、大変多くの皆様にご参加いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

日本海事センターは、我が国の海事分野の中核的な公益財団法人として、国内外の動向に的確に対応しつつ、海事に関する幅広い研究調査事業や助成事業を行っています。

これらの活動の一環として、産官学の関係者との連携・協働を図るとともに、海事分野について広く皆様のご理解をいただくため、2007年より「海事立国フォーラム」を開催しており、また昨年からは、新たにオンラインを活用して「JMC 海事振興セミナー」を開催し、すでに7回のセミナーを実施いたしました。

海事立国フォーラムは、例年2回、東京と東京以外の都市において開催しており、今回で32回目を数えます。

東京以外の都市での開催は、昨年8月の兵庫県神戸市、本年2月の沖縄県那覇市に続くもので、三重県での開催は初めてです。

今般の開催に当たり多大なるご協力を賜りました三重県はじめ関係者の皆様にご心から感謝申し上げます。

さて、一口に海事分野と申しましても、海運、造船、船用工業、港湾はもとより、水産、海洋資源、エネルギー、気候変動、安全保障など広範多岐にわたります。

さらに、マリレジャーやクルーズなども海事の重要な分野であり、海事と観光とは深い関係にあります。

日本有数の物流拠点を擁する伊勢湾と黒潮流れる太平洋に面して長い海岸線を有し、また、リアス式海岸が美しい景観を造り出す伊勢志摩の海を誇る三重県においては、海の安全・安心を確保し、海の環境を保全しつつ、海を多面的に利用することが大変重要です。

本日の海事立国フォーラムでは、多様な主体の連携・協働による持続的な取組みを通じて、観光と一体となった海事の振興をどのように図っていくのか、海の安全・安心や環境の保全をどのように確かなものとしていくのか、また、脱炭素社会の実現に向けて洋上風力発電をどのように展開していくのか、といったテーマについて、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

さて、本日の「海事・観光立国フォーラム」には、公務ご多忙の中、地元を代表して  
一見勝之<sup>いちみかつゆき</sup> 三重県知事、中森 博文<sup>ひろふみ</sup> 三重県県議会議長、中村欣一郎<sup>なかむらきんいちろう</sup> 鳥羽市長及び橋  
爪 政吉<sup>まさよし</sup> 志摩市長にご臨席いただいております。誠にありがとうございます。

一見知事は、皆様ご承知のとおり、運輸省、国土交通省及び海上保安庁を中心に内閣府やフランスでの勤務を含め、行政官として要職を歴任され、2021年9月に三重県知事に就任されました。

一見知事と私とは、一見知事が運輸省に入省されて間もない時から、ということ  
は私自身もまだ30代半ばの頃からですが、日本のために、世の中のために、との強い思いを持って、何度も一緒に頑張ってきた仲間であります。

一見知事が、今では三重県知事として、郷里三重県の発展のために日夜尽力されておられることは誠に頼もしく、今後ますますのご活躍を期待しております。

そこで本日は、まず第一部として、一見知事から、『『美<sup>うま</sup>し国』三重の挑戦』と題して特別講演をしていただきます。

その後、伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の江崎<sup>えざき</sup>会長から、観光の現場における海との共生に向けた取組について講演をしていただきます。

続いて第二部として、「海をめぐる課題への対応と関係者間による連携・協働」をテーマに、早稲田大学法学学術院の河野<sup>かわの</sup>真理子<sup>まりこ</sup>教授をモデレーターとして、海上保安庁第四管区海上保安本部の奥<sup>おく</sup>本部長と、国土交通省中部運輸局の金子<sup>かねこ</sup>局長をパネリストとして議論を行っていただきます。

次に、当センターの坂本研究員から、洋上風力発電の国内外の取組に関する研究発表を行い、河野<sup>かわの</sup>教授からコメントをいただきます。

さらに第三部として、海上保安庁の高杉<sup>たかすぎ</sup>総務部長から、海の安全・安心への取組について特別講演をしていただいた後、海上保安庁音楽隊による演奏などの「ミニ海保フェア」を開催するという、大変盛りだくさんな内容となっております。

最後に、本日の海事・観光立国フォーラムへの皆様のご参加に対し、重ねて御礼申し上げますとともに、本日のフォーラムが、皆様にとりまして、今後の取組への有益な示唆に富むものとなり、また意見交換や交流の場として有益な機会となりますことを期待いたしまして、私のご挨拶といたします。